

揖斐高校と岐阜大学が連携
高校生と大学生らが
いびの未来 について語り合います！

岐阜大学では、県内自治体など地域と協力して進める「地（知）の拠点整備事業」の一つとして、未来についての対話の場となる「フューチャーセンター※」を開催しています。このたび、このフューチャーセンターの取組みが広がり、揖斐高校においても本学と連携して開催することになりました。

揖斐高校初開催のフューチャーセンターでは、同校生活環境科の生徒、本学学生及び地域住民などのみなさんが一緒になり、揖斐川町の産業・伝統を生かした製品づくりや地域活動について話し合います。

つきましては、当日の取材方よろしくお願いたします。

記

1. 行事名 自然豊かないびワクワクフューチャーセンター
2. 日時 平成26年10月2日（木） 10:10～12:00
3. 場所 揖斐高等学校 会議室（揖斐川町三輪1852 TEL:0585-22-1261）
4. テーマ 「いびについて語ろう！ ～地域のために若者ができること～」
サブテーマ（1）いびのいいところ
（2）いびの変えたいところ
（3）いびのために若者ができること
5. 参加者 35人
（予定） 内訳：揖斐高校生活環境科生徒15人、揖斐高校教職員2人、岐阜大学学生6人、岐阜大学教職員3人、揖斐川町職員3人、地域住民6人
6. 方法 グループによる話し合い
7. 主催 揖斐高等学校

※フューチャーセンター

複雑な課題について、多様な人々が集まり、未来志向で創造的に議論する「対話の場」をいいます。欧州の公的機関などで発展し、日本では企業や大学等で設置が広がりつつあります。

★ルール

- （1）参加者の立場や役職などの社会的属性にとらわれない（全員が同様の立場として参加）
- （2）他人の意見に対しては常に敬意を払い、建設的なコメントもしくは提案をする
- （3）参加者全員が場づくりに責任を持つ
- （4）参加者全員が当事者意識を持ち、ファシリテーター（進行役）のみに負担を負わせない

<参考>

岐阜大学の「地(知)の拠点整備事業(大学COC センター オブ コミュニティ (Center Of Community) 事業)」

岐阜大学が県内自治体等と連携し、「地域にとけこむ大学」を目指して行う教育・研究事業。

- 事業名称 ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学
- 目 標 地域の諸問題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献する
- 3つの柱 ①教 育：地域にとけこみ活躍する人材の育成
(次世代地域リーダー育成プログラムの展開)
- ②社会貢献：自治体や地域住民、大学などがともに地域課題について対話する場
(フューチャーセンター) の設置
- ③研 究：地域を志向する研究の推進

★岐阜大学では「ぎふフューチャーセンター」を毎月1回程度開催しています。



当事業は文部科学省「地(知)の拠点整備事業」
の支援のもと推進されています